



その測定工具は大丈夫？

—五光社メルマガVOL.18—

こんにちは

本日は測定工具の検査、校正についてです。

検査校正、トレーサビリティなどよく耳にしますが一体なんのことだかご存知でしょうか？
我々が携わる製造業において、製品は指示された寸法でつくらなくてははいけません。
作った製品が図面通りにできているかを確認するために測定工具を使用しますが
その測定工具に不具合があったとしたら？

図面通りにできたと思っていても、1-ガーによる受け入れ検査では図面通りにできていないじゃないか！！ということが起こってしまいます。



測定工具の検査や校正という作業は、使用している測定工具が壊れていないか？

正確な値を示しているか？を確認する作業のことです。

では実際に検査、校正とは何をしているのでしょうか？

測定工具を長く使用していると、劣化や摩耗により正しい値を示さなくなっていく
ます。明かな故障がなく作動していたとしても調整がくるっていたり、測定部が接
触などで摩耗していれば正確な測定値が得られていないかもしれません。

そこで必要になるのが検査、校正です。

検査、校正とは使用している実機が正しく測定できているかを確認する作業のこ
とで実機の値と基準機の値を比較し、ズレを把握します。例えばマイクロメーターの
検査、校正ですとメーカーや校正業者にある基準器で実際に検査をします。



上記の作業を行うことで検査成績書、校正証明書、トレーサビリティ体系図 の3つの証明書類が発行されます。

①検査成績書とは

測定工具の校正結果においてメーカーに定められた「検査規格」等の判定基準と比較して
合格、不合格の判定が記載された証明書のことです。

キズの有無などの「外観」、正常動作に関わる「機能」、

測定値が許容値内に収まっているか否かの、「性能」を判定した結果が記載されます。

例えば不合格になった測定器はメーカーが定めた基準に適合していないということになります。

すなわち各部の摩耗や損傷等の原因により、測定工具として正しい値を測定できていないことにな
ります。

②校正証明書とは

校正証明書は検査、校正作業を担当したメーカーや事業者の会社名、

また、校正作業に使用した基準器の詳細が記載されます。

